

第1章 静岡市の景観の現況と特性

1. 自然景観
2. 歴史景観
3. 都市景観
4. 公共施設等
5. 活動景観



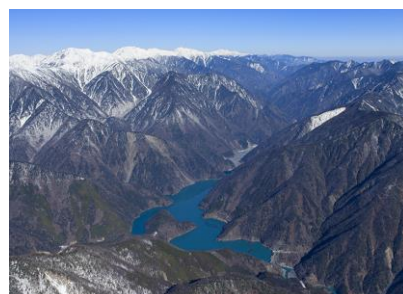
第1章 静岡市の景観の現況と特性

景観を構成する要素を「自然」、「歴史」、「都市」、「公共施設等」、「活動」の5つに区分します。要素毎に、以下のような特性を有しています。

1. 自然景観

①山地景観

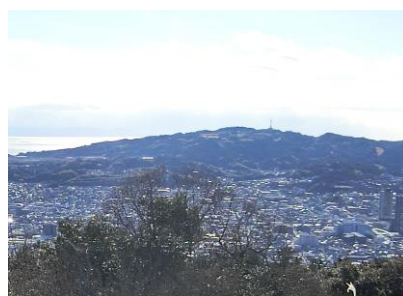
本市には、3,000m級の山々からなる急峻な南アルプスや、そこから派生する安倍山地、庵原山地が連なっており、自然豊かな山地景観が形成されています。



南アルプスの山並み

②市街地の背景となる山々や丘陵地等の景観

市街地を取り囲む山々、また市街地内の有度山、谷津山、八幡山、秋葉山、蒲原丘陵などの里山や丘陵地は、市街地のまちなみ景観の背景や幹線道路から見える風景として、重要な景観要素となっています。



有度山

これらの山々や丘陵地等は、市民等が身近に接することのできる自然空間であるとともに、南アルプスや富士山、駿河湾、伊豆半島などの眺望地点*ともなっています。

また、優れた自然景観を維持し、都市環境の保全を図るうえで重要な場所については、自然公園や風致地区等を指定しています。

③農業・農村集落景観

市街地北側の山地の斜面地や有度山、蒲原丘陵には茶畑やみかん畑、有度山の南麓の斜面から久能海岸にかけてはイチゴ畑（ビニールハウス）が広がり、本市特有の農業景観を形成しています。また、市街地郊外の平野部には水田が広がっています。



茶畑と集落（平山）

北部の山間地や山のふもと、海辺などに形成された農村集落は、周囲の農業景観や自然景観と家並み、社寺などが一体となった風景となっています。中山間地域に伝わる「静岡水わさびの伝統栽培」は世界農業遺産に認定され、特色ある畳石式のわさび田の景観が継承されています。



畳石式のわさび田（有東木）

*【用語の解説】 眺望地点 → P用-2

④海岸の景観

山から市街地、そして海へと広がりをもった景観は本市の特徴となっています。

駿河湾に面する海岸線は、三保松原に代表される自然海浜、久能、興津や蒲原の山を背負った海岸など、それぞれが特色ある多様な海辺景観を形成しています。近年は、海岸侵食などによる景観の変化が見られます。



三保松原

⑤河川などの水辺景観

主要河川である安倍川、藁科川、興津川、富士川については、上流部の森林などの自然景観、中流部の農村集落景観、下流部の市街地景観などと深い関わりがあります。

特に、安倍川や富士川の下流部の河川敷は、貴重なオープンスペース*として利用され、スポーツ・レクリエーションの場などとして市民等に親しまれています。

その他の丸子川、巴川、長尾川、庵原川などの河川についても、それぞれの地域景観の中で身近な水辺景観として重要な役割を果たしています。

また、麻機遊水地、鯨ヶ池、船越堤などの池沼についても、市民等の憩いの場、レクリエーションの場などとして利用されています。



安倍川



巴川

⑥市街地内などの樹木の景観

市内各所に社寺林や大木などが点在しており、市街地や集落にうるおいを与える緑の景観として貴重な存在となっています。



但沼神社のクス（但沼）

⑦四季を彩る景観

山地、丘陵地等では、新緑や紅葉など、四季に応じて優れた自然景観を見ることができます。また、桜、ツツジ、椿、梅の名所なども市内各所に分布しており、四季を感じられる景観となっています。



御殿山の桜

*【用語の解説】 オープンスペース ➡ P用-1

⑧ 絵画・文学の舞台となった豊かな景観

歌川広重「東海道五十三次」や葛飾北斎「富嶽三十六景」をはじめ、本市の景観が描かれた絵画や文学も多く、自然の豊かさを物語っています。



東海道五十三次 丸子宿

2. 歴史景観

① 古代の遺跡、景勝

温暖で暮らしやすい気候の本市には、登呂遺跡や賤機山古墳、三池平古墳など多くの遺跡が残っています。古くから人々の生活が営まれ、“安倍の市”の記録は万葉集の歌にも残されています。

また、枕草子の「木枯森」、日本書紀にみる「草薙の伝説」、羽衣伝説にまつわる「羽衣の松」など、この地の景勝が、多くの神話や和歌などに取り上げられており、古代ロマンを引き寄せています。



登呂遺跡

② 鎌倉時代から戦国時代にかけて建立された古刹

鎌倉時代から戦国時代には、既に東海道が重要な交通路となっており、沿線の高台や丘陵部には、清見寺や霊山寺などの古刹が建立されました。また、戦国時代を迎えると、臨濟寺をはじめとする今川氏に関連する寺が建立されました。これらの古刹は、現在も周辺の地形や自然と一体となって歴史的景観を形成しています。



清見寺（興津）

③ 戦国時代の史跡

戦国時代には、今川氏の東部方面の支城として蒲原城が築城されました。現在は蒲原城跡として整備され、歴史的景観として貴重な存在となっています。



蒲原城跡

④ 市街地の基礎をなす駿府の町割

駿府城公園周辺は、今川氏を基礎に徳川家康が行った駿府城を核とした“町割”によるものです。街路網や街の区画の整備、安倍川の治水等はその一例であり、武家屋敷、商人町、職人町の配置は、現在でも地名として残っています。

また、家康が築いた駿府城の中心部は駿府城公園となっ



駿府城跡の巽櫓

ており、現存する静岡浅間神社、久能山東照宮などは当時の歴史を物語る貴重な遺産となっています。

⑤旧街道の景観

江戸時代には、東海道五十三次のうち、蒲原、由比、興津、江尻、府中、丸子の6つの宿場町と、東海道の難所と言われた薩埵峠、宇津ノ谷峠の2つの峠があり、清水湊は駿府の外港・甲州や信州の玄関口・廻船の避難港として栄えました。

このころのまち並みは、「東海道五十三次」「富嶽三十六景」などの絵画にも描かれています。

現在の市街地の原型は、この時代につくられたもので、蒲原地区、由比地区、興津地区や丸子宿と岡部宿の中間地点として栄えた宇津ノ谷地区には、歴史的まち並みが残っています。また、旧東海道にまつわる石碑、記念碑などが道筋とその沿道に設けられており、久能街道などの古道と相まって、本市の都市の成り立ちや道の文化を感じることができます。

⑥近代建築物等

明治以降、近代化によりまち並みが整備されましたが、大火や戦災により市街地は焦土と化し、戦後の区画整理事業などにより現在のまち並みに至っています。

静岡銀行本店（旧静岡三十五銀行本店）など、近代化の歴史を物語る建築物などが市内各所に残されています。

⑦地場産業・伝統工芸

家具、木製品製造業、プラモデルなどの地場産業が発展しており、中には江戸時代に端を発するものもあります。ひな具・ひな人形や竹千筋細工などの伝統工芸は、本市らしさの一要素となっています。

⑧神社等での祭りや伝統行事の景観

各所に点在する社寺などでは、四季を通じて様々な祭典が開催されており、静岡浅間神社の例大祭、美濃輪稲荷神社の祭典、草薙神社の龍勢煙火などが代表的な祭典です。



歴史的まち並み（宇津ノ谷地区）



蒲原宿の石碑



静岡銀行本店（旧静岡三十五銀行本店）



伝統工芸の実践（丸子・駿府匠宿）

また、古来より続く神事や江戸時代の文化といった本市にまつわる歴史・文化を伝承する“祭りや伝統行事”が数多く残っており、市民等にも広く親しまれています。

安倍川花火大会、巴川灯ろう祭りなどは、川の風景と相まって、夏の風物詩となっています。



安倍川花火大会

3. 都市景観

1) 市街地の景観

①都市拠点

JR 静岡駅、JR 清水駅、JR 東静岡駅それぞれの駅を中心とした地区は、本市の都市拠点となっています。

JR 静岡駅を中心とした地区は、商業・業務施設などが集積し、また、駿府城公園周辺には県庁・市役所をはじめ各種の官公庁施設が立地するなど、県下一の賑わい景観が形成されています。

JR 清水駅を中心とした地区は、清水区の中心地であり商店街や業務施設が集積しています。また、駅舎や東口・西口駅前広場が整備されるなど、清水港との一体性が確保され、新たな魅力が創出されています。

JR 東静岡駅を中心とした地区は、土地区画整理事業により整備され、情報・芸術関連施設などの立地が進んでおり、新たな都市拠点としてのまち並みが形成されています。



JR 静岡駅周辺



JR 清水駅周辺

②地域拠点

JR 草薙駅周辺、JR 安倍川駅周辺、駿河区役所周辺は、地域の魅力や利便性を高める都市機能の向上が図られています。

JR 草薙駅周辺は、JR 草薙駅周辺整備事業や市街地再開発事業等が行われ、周辺には大学・美術館・図書館など教育文化施設が集積しています。

駿河区役所周辺は、商業・業務機能等の集積とともに、歴史文化資源を活かし、魅力を向上させています。

JR 安倍川駅周辺は、安倍川駅周辺事業により駅舎、駅前広場等が整備され、新たな賑わいを見せています。



JR 東静岡駅周辺

③商店街等の景観

都市拠点に組織されている中心商店街（呉服町通り、七間町通り、清水駅前銀座商店街、清水銀座商店街等）や各地区に組織されている商店街（浅間通り、長谷通り、駒形通り、草薙駅前、次郎長通り等）は、それぞれ特色あるまち並みが形成されています。

また、JR新蒲原駅南側には、大規模ショッピングセンターが立地し、蒲原地区の賑わいの中心となっています。



呉服町通り

④沿道商業地の景観

（都）南幹線、（都）北街道線、（都）中野小鹿線、（都）静岡下島線、（都）丸子池田線、県道富士由比線などの幹線道路沿道には、物販店や飲食店などが建ち並び、活気のある沿道景観が形成されています。

しかし、これらの中には、大規模な屋外広告物などが目立ち、周囲の景観との不調和を生んでいるケースが見られます。



（都）中野小鹿線

⑤清水港の景観

清水港は、静岡県の海の玄関口として、港湾施設整備や再開発が進んでいます。

港湾部は、基幹産業である造船や金属、製油などの重化学工業関連の各種港湾施設が集積し、「みなと清水」をシンボライズする景観を構成しています。平成3年から、「清水港・みなと色彩計画」により富士山や海と調和した港湾景観形成が進められています。

また、日の出地区には、清水マリナーパーク、人工海浜などの憩いや親水空間であるとともに、様々なイベントが開催され、商業施設、文化施設、共同住宅など官民の各種施設が立地し、ウォーターフロントとしての魅力が高まっています。



コンテナクレーン（清水港・みなと色彩計画に基づく色彩）



清水港（日の出地区）

⑥工業地等の景観

国道1号、（都）中野小鹿線沿いや蒲原地区東部地域などには大規模な工場が立地し、工場緑化などが施され、周辺の景観との調和に配慮した工業地景観が形成されています。

また、流通センターや計画的に整備された工業団地など



工業地（小鹿）

が市内各所に分布し、特色ある景観となっています。

⑦住宅市街地のまち並み

既成の住宅市街地は、主に戦後の復興区画整理をはじめとする基盤整備事業等の実施により、比較的整然としたまち並みが形成されていますが、地区の立地条件や成り立ちなどの特性から、工場や店舗等が混在する住宅地や中層の集合住宅が立地する住宅地なども見られます。

また、有度山麓部等においては、土地区画整理事業や住宅地開発によって形成された低層の良好な住宅地が広がっています。



低層住宅地（大谷）

⑧郊外部の住宅地のまち並み

郊外部においては、住宅地開発等によって形成された、周辺の自然環境と調和したゆとりある住宅地が分布しています。



郊外部の住宅団地（足久保）

⑨観光地の景観

観光資源が豊富であり、日本平、久能山、三保、登呂遺跡、丸子・宇津ノ谷などが代表的な観光地となっています。それぞれ固有の自然景観や歴史景観も有し、全国から多くの観光客が訪れます。



久能山東照宮

2) 眺望・夜景の景観

①指定眺望地点

本市ならではの美しい眺望を楽しむことができる地点を景観条例に基づく眺望地点として指定し、広く市民等にPRしています。



日本平からの眺望

②高台の眺望地点

市街地周辺の山々や丘陵地は、眺望に優れ、市街地やその周辺の山々、海などの広大な眺望、さらには富士山や市街地等のパノラマを楽しむことができます。

また、夜間においても、市街地の“きらめき”と“しっこく”のコントラストによる夜間景観となっています。



日本平からの夜景

③市街地内の眺望地点

市街地の各所に、市街地内の道路や住宅、ビルなどの建造物（人工美）と併せ、借景として広がる竜爪山、日本平などの山並みや丘陵地などを望むことができる場所や河川や海などを眺望できる場所、特徴ある美しい通りを望むことができる場所など、特色ある眺望地点があります。

また、富士川河川敷は、桜えびの天日干しの場として利用されており、富士山を背景とした光景は、美しい景観として有名です。

④光の演出による夜の景観

市街地内の主要な場所や施設などでは、イルミネーションをはじめとする光による演出が行われており、昼間の市街地とは異なる幻想的な景観となっています。

その景観は、港や通りなど各々の特性に合わせた魅力ある夜の景観となっています。

御殿山のさくらまつりでは、ライトアップされた桜を楽しむことができます。



市役所静岡庁舎 17階からの眺望



富士川河川敷の桜えびの天日干しの風景

イルミネーション
(青葉シンボルロード)

4. 公共施設等

本計画では、「公共施設等」とは、道路や河川、公園などの公共施設と公共建築物など公共（行政）が整備する施設を示します。

①広域交通施設の景観

駅やインターチェンジ、フェリー乗り場などは、本市の玄関口であり、市外からの来訪者を迎え入れ、本市を印象づける重要な場所として、静岡らしさの演出や景観的な配慮が求められています。

また、高速道路からは、車窓から身近に山並みなどの自然景観を望むことができます。



静岡インターチェンジ

②幹線道路の景観

JR 静岡駅や JR 清水駅をはじめとする駅前、県庁や市役所・各区役所などの官公庁施設周辺の幹線道路では、街路樹の整備や電線類の地中化などによって緑豊かで良好な道路景観が形成されています。

今後も、地域の中心地や地域間を連携する主要な道路では、周辺のまち並みとの調和や景観の連続性を確保していくことが求められています。

また、道路景観の特徴として、市街地周囲の山並みが見通せたり、富士山、駿河湾など印象的な自然景観を見られることが挙げられます。



御幸通り

③生活道路・路地の景観

生活道路・路地では、民家の緑が見え、うるおいと親しみのある暮らしの景観が形成され、住民の交流の場にもなっています。また、歩道の整備などにより、歩行者にとって魅力ある景観を形成しています。

安全・快適に通行できる道路整備とともに、通りのスケールに合わせ、官民一体でうるおいのある道づくりを進め、落ち着いた生活環境と調和した景観形成が求められています。



小黒の生活道路

④河川の景観

市街地を流れる河川は、市街地にうるおいある景観を形成するとともに、スポーツ広場や自然とのふれあいなど、市民活動の場として利用され、美しく活気ある景観を形成しています。



安倍川

⑤公園・緑地の景観

市街地内に分布する駿府城公園、城北公園などや、既存の丘陵地を活用した日本平、八幡山、谷津山、船越堤公園、秋葉山公園などの公園や富士川緑地などの緑地空間は、憩いの場、レクリエーションの場として、また眺望地点等として市民に親しまれています。また、歴史や周囲の都市機能と結びついて独自の魅力ある景観を形成しています。



城北公園

⑥まちのランドマークになる公共建築物の景観

県庁や市役所静岡庁舎本館・新館、駿河区役所、清水区役所、グランシップ、日本平夢テラスなどの公共建築物等は、地域の景観を構成する重要な要素であり、ランドマークともなっています。

⑦文化・産業を象徴する公共建築物の景観

本市には、市立図書館や市民文化会館などの市が所有する公共建築物だけでなく、静岡大学や県立大学、県立中央図書館、県立美術館、舞台芸術公園をはじめとする国・県の主要な公共建築物が中心市街地に集積しています。

また、登呂博物館や芹沢銈介美術館などの芸術・学術文化的な公共建築物も多く立地しています。

これらは、県民・市民の文化活動の拠点として親しまれており、地域景観を特徴づける重要な要素となっています。

また、地場産業関連施設として、ツインメッセ静岡、駿府匠宿などは、静岡の産業や伝統をPRする魅力ある公共建築物となっています。

⑧彫刻やモニュメントの景観

駅前や公園、緑地などの公共施設等にはモニュメントなどが設置されており、まちにうるおいを与えています。

JR静岡駅周辺には、徳川家康公像、竹千代君像など歴史を感じるものから、美術的価値が高いルノワールの彫刻「勝利のヴィーナス」、「洗濯する女」が設置されており、街なかで、歴史やアートに出会うことができます。

5. 活動景観

①年中行事・イベントの景観

街なかを舞台にした大道芸ワールドカップや静岡まつりなどのイベントも開催されており、まちを彩り、まちの景観と一体となった新たな文化として息づいています。

また、静岡の中心市街地の青葉シンボルロードでは、年間を通して多様なイベントが開催され、まち並みと人々の



市役所静岡庁舎本館



県立美術館



駿府匠宿



徳川家康公之像（駿府城公園）



大道芸ワールドカップ

第1章 静岡市の景観の現況と特性

織り成す賑わい景観となっています。

清水港のマリンパークにおいても、様々な催しが開催されており、人々のふれあいと港が織り成す景観となっています。

御殿山や蒲原城跡などでは、地域の自然や歴史を活かしたイベントが開催され、地区内外からの人々で賑わいます。



静岡まつり

②スポーツの景観

サッカーをはじめとするスポーツも盛んなまちであり、Jリーグ清水エスパルスの試合など、スポーツにより演出される景観となっています。

また、丘陵地や川、海などの自然景観を活かしたスポーツも行われており、マラソン大会やマリンスポーツなど周囲の自然とスポーツに勤しむ人々の織り成す景観は、本市の魅力の一つとなっています。



清水エスパルスの試合

③自然とのふれあい、レクリエーション等の景観

市街地郊外や農山村では、山や海を活かしたレクリエーションや憩いの場があり、自然を媒介とした人々のふれあう景観となっています。



魚魚の里（梅ヶ島）

④市民等の景観形成に関わるまちづくり活動等

安倍川・藁科川・興津川のアドプトプログラムによる河川敷などの美化活動、NPO 法人や市民団体、地元自治会などによる花壇の維持管理、棚田や自然環境の保全活動などが活発化してきており、良好な景観形成に関連する活動が、市民の手により進められています。

泉ヶ谷地区では、地区の住民を中心とした景観まちづくり活動が行われており、地元ルールによる景観形成や地区の修景などが積極的に進められています。



NPO 法人による花壇の管理（清水港）